

医療従事者の負担軽減・処遇改善の取組みについて

当院では、患者さんへの質の高い医療の提供のために、医療従事者（病院職員）の負担軽減・環境改善が不可欠であることから、業務負担軽減委員会を中心に、下記の取組みを行っております。

多職種による業務協力・分担

- 各種チーム医療体制の充実（栄養サポートチーム、緩和ケアチーム、呼吸ケアチーム、感染制御チーム、褥瘡対策チーム、入退院支援チーム、認知症ケアチーム等）
- 多職種の病棟配置の促進（薬剤師、看護補助者）
- クリニカルパスの促進

医師事務作業補助者の配置

- 医療クラークの養成による医師の事務的負担軽減（診断書作成補助、診療補助作業等）

診療時間内での医師の説明等業務の実施

- 救急や緊急を除く、通常業務については、患者様への説明や対応等を、診療時間内で満了するよう努めています。患者様のご理解とご協力をお願いいたします。

地域医療連携の推進

- 地域医療連携の強化（地域医療支援病院、地域連携部門による地域医療機関との円滑な連携）

入退院センターの業務拡充

- 医師に代わって、入院にかかる説明をおこなっています。患者さんにとって、スムーズな入退院を目指します。

看護補助者の確保

- 看護職員の業務負担軽減ができるように、看護補助者及びエイドアシスタントの募集をおこなっています。
入院患者さんの重症度に合わせて、看護補助者の夜間配置も一部取り組んでいます。

時間外業務の適正化

- 職種ごとの勤務形態及び業務の特徴を踏まえ、時間外業務の適正化をめざします。
また、多職種の連携協力によるタスクシフトを検討し、医師の時間外業務の適正化に取り組んでいきます。

院内保育園の設置

- 子どものいる職員も安心して仕事ができるよう院内保育園を備え、夜間の預かりもおこなっています。

2021年4月1日

横浜南共済病院 病院長
業務負担軽減委員会